

留 学 報 告 書

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学デービス校 現地言語： University of California, Davis
留学期間	2019年9月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Global Study Program に参加 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月25日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期： 2 学期：○ 3 学期： 4 学期： (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	35186
創立年	1905

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	14,250	約150万円	
宿舍費	6055	約65万円	865×7カ月
食費	300	円	
図書費	0	円	
学用品費	300	約3万円	
携帯・インターネット費	560	約6万円	80×7カ月
現地交通費	0	円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	円	
被服費	0	円	
医療費	0	円	
保険費	1000	約10万円	形態:明治大学が要求した保険に加入
渡航旅費		約20万円	(往復)
ビザ申請費		3万～4万円	
雑費	5000	50万円	留学中の旅行代含む
その他		円	
その他		円	
合計	27165	約290万円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:サクラメント 経由地:ロサンゼルス
 復路 出発地:サクラメント 目的地:成田 経由地:サンフランシスコ

渡航費用

- ①往復チケットを購入した場合
 航空会社:デルタとユナイテッド航空
 料金:
 ②片道ずつチケットを購入した場合
 往路 航空会社:デルタ 料金:10万と数千円
 復路 航空会社:ユナイテッド航空 料金:約99000円 ∴合計:約20万円

航空券購入方法

旅行代理店(店名:) インターネット(サイト名:エアトリ) その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート,大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数4)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

インターネット上で大学側がおすすめてくれたサイトを使った。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シェアルームはとにかくプライベートが少ない。一人の時間を大切にしたい人にはお勧めしません。私はアメリカ人、インド人、中国人とともに約7カ月暮らしました。文化、生活習慣のちがいを肌で感じることができ、良い経験となりました。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

なし
 あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口,現地の友人等)

なし
 あり(問題の内容や相談した人等:協定留学先のハウストラブルの専門員とアパートのマネージャー)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

犯罪に巻き込まれることはなかった。現地の人の口コミがやはり一番有効であった情報であったと思われる。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

AT&Tと回線契約した。速度は問題なかった。しかし料金が少し高いと感じた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で予めVISAカードを作って、そこからカード払いもしくは現金を引き出した。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

私は特に何か欲しいと感じることはなかったのでわからない。アメリカではほぼほぼのもので自分で現地で調達できると思う。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

授業料は授業の始まる一カ月ほど前にクレジットカードで支払いを行った。その際、収入調査も行われ、いろいろな書類を準備しなければならなかった。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 不明 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Structures Academic Writing		構造的学問のためのライティング
科目設置学部・研究科	University Writing Program (UWP)	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に110分が2回	
担当教授	Jim Davis	
授業内容	学術的論文の書き方、そしてそれに伴う文法をいくつか学習。	
試験・課題など	中間試験と期末試験実地。さらに3つほどのエッセイ、2回のプレゼンテーションで成績評価。	
感想を自由記入	Citation の仕方、プレゼンテーションのコツを授業を通し学習できたおかげで、この授業以外で行われたプレゼンテーションやエッセイの課題がスムーズに行うことができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intro Multiple Writing		ライティング初級
科目設置学部・研究科	University Writing Project (UWP)	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に110分が2回	
担当教授	Erica Trembly	
授業内容	英語で論文を書くときの基礎、応用の学習。	
試験・課題など	中間、期末試験はないものの、日々のレポート提出で成績評価。	
感想を自由記入	正直私には優すぎる授業であった。しかしながら私が参加していたプログラムに強制され履修。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Drama		演劇	
科目設置学部・研究科	Drama		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実習形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分が2回		
担当教授	Michele Aprina Leavy		
授業内容	英語でのプレゼンテーション演習、コミュニケーション力の養成。		
試験・課題など	中間試験はプレゼンテーション、期末試験はオリジナルCMを英語で作るという課題が出された。		
感想を自由記入	プレゼンテーション能力、コミュニケーション力はこの授業を通し向上したと考えている。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
PALProgram		バルプログラム	
科目設置学部・研究科	Education		
履修期間	秋学期と冬学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	パートナーと対人でコミュニケーションをとる(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が2回		
担当教授	Dawn Takaoglu		
授業内容	本プログラムを通し、週に二回自分のパートナーと会い、言語の練習やコミュニケーション力の向上を目指す。		
試験・課題など	中間試験はなく、期末試験として、Reflective Paper を提出。		
感想を自由記入	このプログラムを通じてたくさんの外国人の友達を作ることができた。言語力も向上したと思われる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
General Psychology		心理学	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	冬学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式+オンライン講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に講義100+オンライン60程分が1回		
担当教授	Matthew Sazma		
授業内容	心理学の基礎を学習。		
試験・課題など	中間試験5回と期末試験一回。週に三回ほど課題の提出。		
感想を自由記入	私がアメリカでうけた講義の中で一番ハードであった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Labor	労働問題について
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	冬学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80+50分が2回
担当教授	Courtney Caviness
授業内容	アメリカの労働問題について。
試験・課題など	授業中のミニテスト5回。中間試験と期末試験でそれぞれ 3000 字程度のレポート提出。
感想を自由記入	アメリカの労働問題を扱う授業であったので日本ではなかなか受講することのできない授業であったと思われる。興味深い内容であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro Wine Making	ワイン
科目設置学部・研究科	Viticulture and Enology
履修期間	冬学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Jean-Jacques Lambert
授業内容	ワインの作り方、仕組、ワインの歴史について学習。
試験・課題など	中間試験、期末試験実施。授業テスト2回実施。
感想を自由記入	カリフォルニア大学デービス校は農業に力を入れている学校であったので留学中に一度はとってみたい授業であった。内容もとても興味深いものであった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

特にまだこれといって確定はしていない。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

なし

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

まだ就活をしたことがない。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学を視野に入れ情報収集。
10月～12月	
2019年 1月～3月	TOEFL 勉強に集中、受験。
4月～7月	留学先決定。ビザの獲得。協定校先との書類のやり取り。アメリカで済むアパートの契約。留学の準備諸々。
8月～9月	9月16日アメリカ到着。留学開始。
10月～12月	とにかく勉強、期末試験。冬休みを利用し旅行。
2020年 1月～3月	留学ラストスパート。勉強量倍増。コロナ流行。3月25日帰国。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私の留学先、カリフォルニア大学デービス校を選んだ理由はカリフォルニアという土地に憧れがあったのと、Global Study Program というプログラムがあったからである。カリフォルニアにはサンフランシスコ、ロサンゼルスといったアメリカを代表する観光地が存在している。両方に留学中に訪れたのだがやはり活気がすごかった。カリフォルニアにはヨセミテ国立公園という大自然も存在している。大都会と大自然の両方を兼ね備えた土地で滞在し、勉学に励むのは私の夢であった。気候をカラッとしていて最高と土地であった。人柄も温かく、色んな人種がいるのがまたカリフォルニアの特徴ではなからうか。留学先としてカリフォルニアを選んで本当に良かったと思っている。私が実際に参加した Global Study Program であるが、このプログラムでは生徒は様々な分野の授業が好きに履修することができた。それが私がカリフォルニア大学デービス校を選んだ第一の理由である。私は明治大学で国際日本学部にも所属している。そのためこれといってメジャーをもってはいない。私は大学生の間に様々な分野の知識を詰め込みたいのである。例えば法学部だと法律の知識ばかり学ぶのが嫌だったのである。そこで留学先を決めるにあたって Global Study Program を見つけた瞬間、私は留学先をカリフォルニア大学デービス校に決定した。私はこのプログラムを通して、心理学の知識、社会学、労働問題の知識、さらにはワインの知識までを学ぶことができた。留学はその文字通り、とにかく学ぶことが多かった。留学生活の一日の中の自主勉強時間は6時間以上は当たり前だった。いかに私が日本にいたとき勉強をしてこなかったのかを実感させられた。留学を志す後輩に言えることは、とにかくバケイション気分で留学を行うなということである。とにかく勉学に励む時間を与えてくれるのが留学であるからだ。授業を受け、教科書を読み知識を詰め込むのが勉強のすべてではない。現地の友達とのコミュニケーションや日々の生活も勉強である。私はシェアルームをアメリカ人、インド人、中国人を行っていた。三人とも現地の学生でとにかく優秀な人材であった。楽しいこともたくさんあった。喧嘩もした。言語の壁、文化の違いを感じた。警察沙汰となったこともあった。それらもすべて良い経験で本当に勉強になったと感じている。留学を通じ、自分で問題解決する能力、自分で自発的に行動する力は本当の身につくと思う。ぜひ後輩にも留学をし、肌で感じてもらいたい。